

農業農村工学や土木工学の魅力伝える 技術研究所見学会の開催

三六名の大学生が参加、ゼネコンの研究領域の幅広さに驚く

(一社) 土地改良建設協会では、大学生を対象に農業農村工学や土木工学の魅力を伝えるべく、会員企業の技術研究所見学会を開催しているが、二月、三月に実施した大成建設技術センター、鹿島技術研究所の見学会に続き、九月二日に大林組技術研究所、九月十日に清水建設技術研究所の見学会を開催した。また、それぞれ技術研究所の見学会終了後には、農林水産省の若手職員も加わった意見交換会を開催した。

大林組技術研究所

東京都清瀬市の大林組技術研究所の見学会には、一六名の学生が参加し、初めに本館テクノステーションで東京スカイツリーの記録ビデオなどを視聴した後、エネルギー収支ゼロの「ZEB」(ゼロ・エネルギー・ビル)を達成するとともに、スーパーアクティブ制震システム「ラピュタ2D」を導入した地震でも揺れない本館の構造を見学。また、オープンラボでは、重機の遠隔操作をシミュレーターで体験したり、振動体験装置に載って各種制

振・免震技術の効果の相違などを体感したりした。その後、会場を池袋の会議場に移し、大林組の若手研究者及び農林水産省の若手技術者とグルー



大林組技術研究所正面にて



本館テクノステーション講堂での全体説明

ブ毎に意見交換を行った。学生からは、研究開発の内容や行政の仕事内容、職場環境、キャリアパスなどについて熱心に質問し、聞き入っていた。



説明を熱心に聞く参加学生



振動体験装置で免震効果を体験



農林水産省の若手職員及び大林組若手職員との意見交換会



大林組技術研究所見学会 意見交換会参加者

参加学生

令和元年9月2日

東京農工大学	農学部地域生態システム学科	3年生1名
東京農業大学	地域環境科学部、地域創成科学科	3年生1名
三重大学	生物資源学部共生環境学科	2年生2名
京都大学	農学部地域環境工学科	1年生1名、4年生1名
大阪府立大学	生命環境科学域緑地環境科学類	3年生1名
鳥取大学	生命環境農学科国際乾燥地農学コース	3年生1名
高知大学	農林海洋科学部農林資源環境科学科	2年生1名、3年生3名
九州大学	農学部生物資源環境学科	3年生1名
琉球大学	農学部地域農業工学科	3年生2名
琉球大学	大学院農学研究科亜熱帯農学専攻	院1年生1名

大林組	顧問	國弘 実
	技術研究所 構造技術研究部 主任	加藤 一紀
	技術研究所 構造技術研究部	高田 祐希

農林水産省	農村振興局 整備部設計課 首席農業土木専門官	青山 健治
	大臣官房 秘書課企画官	青木龍太郎
	大臣官房 秘書課企画専門職	河原あゆみ
	農村振興局 整備部地域振興課 日本型直接支払企画係長	久保 京子
	農村振興局 整備部防災課 広域防災第一係長	聖川 健斗

土地改良建設協会では、大学の所在地によって最大2万円まで参加学生の旅費を支援している。

土地改良 建設協会	専務理事	齊藤 政満
	事務局長	大澤 祐一
	事業部長	相場 千秋

清水建設技術研究所

江東区越中島の清水建設技術研究所の見学会には、北海道大学から九州大学まで二〇名の学生が参加した。初めに、本館の会議室で研究開発の内容や赤道直下の太平洋に浮かぶ環境アイルランド「GREEN FLOAT」構想などの説明を受けた後、本館の免震構造を見学。その後、サギが飛来する中庭の本格的なビオトープや過去のあらゆる地震を再現できる先端地震防災研究棟の振動台について説明を受け、学生は熱心に聞き入っていた。

また、ロボット実験棟では、困難な現場作業をプログラミングではなく、AIでロボット自身が判断しながら行う研究開発の様子を見学するとともに、風洞実験棟では実際に三〇mの風を体験。関東で風速四〇m以上を記録した台風一五号が通過した翌日の見学会であり、学生は強風の恐ろしさを実感していた。

その後、霞ヶ関の農林水産省に移動し、同省の若手技術者に清水建設の技術者も加わり、学生がいくつかのグループに分かれて意見交換を行った。参加した学生からは、環境分野まで含んだゼネコンの仕事の幅広さや農林水産行政の内

容を知ることができ、将来の進路選択に大変役立つ見学会であったとの感想が寄せられた。



清水建設技術研究所免震装置の前で



本館会議室での全体説明



意見交換会での清水建設の説明(農林水産省会議室)



農林水産省からの説明(農林水産省会議室)



グループに分かれての意見交換(農林水産省会議室)



清水建設技術研究所見学会 意見交換会参加者

参加学生

令和元年9月10日

北海道大学	農学部森林科学科	2年生1名
北里大学	獣医学部生物環境科学科	2年生1名、1年生1名
岩手大学	農学部食料生産環境学科	3年生3名
山形大学	食料生命環境学科	3年生1名
筑波大学	生物資源学類	1年生1名
東京大学	大学院農学生命科学研究科	修士1年生1名
新潟大学	大学院自然科学研究科	修士1年生1名
岐阜大学	大学院自然科学技術研究科	院1年生1名
京都大学	農学部地域環境工学科	1年生2名、2年生1名
鳥取大学	農学部生命環境農学科	3年生2名
島根大学	生物資源科学部地域環境科学科	3年生1名、4年生1名
九州大学	農学部生物生産環境工学分野	3年生2名

土地改良建設協会では、大学の所在地によって最大2万円まで参加学生の旅費を支援している。

清水建設	顧問	清水 洋一
	営業総本部 土木営業本部営業部部長	大野 昌幸
	コーポレート企画室 産業政策渉外部企画課長	下間 英
	土木総本部総務部 人事グループ	佐藤 至
	土木東京支店 土木第三部	加藤 雅也

農林水産省	農村振興局 整備部設計課 首席農業土木専門官	青山 健治
	大臣官房 秘書課企画専門職	河原あゆみ
	農村振興局 整備部土地改良企画課 企画係長	小澤菜穂子
	農村振興局 整備部設計課施工企画調整室 設計基準第1係長	三上 雄也
	農村振興局 整備部防災課防災計画第2	平澤 莉穂
	大臣官房 地方課企画係長	坂上 卓

土地改良 建設協会	専務理事	齊藤 政満
	事務局長	大澤 祐一
	事業部長	相場 千秋